2022年3月期第2四半期決算 (2021年4月～2021年9月)

決算説明会

2021年11月12日

株式会社日本エム・ディ・エム

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

アジェンダ

- ・ 2022年3月期上期決算結果
- ・ 2022年3月期通期業績予想

アジェンダ

- ・ **2022年3月期上期決算結果**
- ・ **2022年3月期通期業績予想**

連結売上高

(Millions of yen)

88.5 億円

**Covid-19環境下
上期売上高
過去最高更新**

21/3,H1 + 14.3%

20/3,H1 + 0.9%

連結売上高【Covid-19の影響】

Growth vs Pre-Covid (20/3)

日本

一定の活動制限下
売上への影響は
限定的

米国

1Q想定以上の
回復も、2Q一転
再拡大の影響で
想定以上の減収

連結損益計算書

(Millions of yen , %)	22/3,H1		vs 21/3,H1		vs 20/3,H1	
	実績	売上比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	8,858	100.0	+1,105	+14.3	+75	+0.9
売上原価	2,856	32.2	+374	+15.1	+322	+12.7
販管費	4,943	55.8	+497	+11.2	▲38	▲0.8
営業利益	1,058	11.9	+234	+28.4	▲208	▲16.4
経常利益	1,042	11.8	+236	+29.4	▲180	▲14.7
四半期純利益※	1,003	11.3	+477	+90.6	+81	+8.8

※親会社株主に帰属する四半期純利益

主要品目別連結売上高

(Millions of yen , %)	22/3,H1		vs 21/3,H1		vs 20/3,H1	
	実績	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
日本国内売上	5,596	63.2	+528	+10.4	+345	+6.6
人工関節	2,146	24.2	+93	+4.6	▲22	▲1.0
骨接合材料	1,772	20.0	+153	+9.5	+5	+0.3
脊椎固定器具	1,458	16.5	+237	+19.4	+347	+31.3
人工骨・その他	219	2.5	+44	+25.4	+14	+7.0
米国売上※1	3,392	38.3	+707	+26.3	▲139	▲3.9
人工関節	3,379	38.1	+700	+26.1	▲135	▲3.9
脊椎固定器具	13	0.2	+6	+109.5	▲3	▲21.9
売上控除前小計	8,988	101.5	+1,235	+15.9	+206	+2.3
売上控除※3	△ 130	△ 1.5	▲130	-	▲130	-
合計	8,858	100.0	+1,105	+14.3	+75	+0.9
自社製品売上	7,151	80.7	+900	+14.4	▲139	▲1.9
ドルベース※2	30,781		+5,609	+22.3	▲1,614	▲5.0

※1 換算レート (円)

110.21

+3.53

+1.20

※2 Thousands of dollars

※3 売上控除：収益認識基準適用に伴う控除。

日本国内売上【人工関節】

(Millions of yen)

21/3,H1 +4.6%

20/3,H1 ▲1.0%

Entrada &
Intellijoint HIP®ナビ
牽引

THA※好調

(※ 人工股関節置換術)

Arrow初症例

(21年9月)

日本エムディエム

JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING

人工関節新製品【Arrow 人工肩関節】

全人工肩関節システム 【Arrow 人工肩関節】販売開始

人工肩骨頭、人工肩関節、**リバース型人工肩関節**としての使用が可能な全人工肩関節システム。フランスを中心とし16,000例以上の症例実績があり、骨接合材料による**治療が困難な上腕骨近位の粉碎骨折、肩関節リウマチ、変形性肩関節症の治療が可能**となる。全人工肩関節市場は、近年、拡大傾向にあり、特にリバース型人工肩関節は、骨折症例へ適応が拡大することで前年比8%を超える成長となっており、当社の日本国内における全人工肩関節市場での販売拡大に期待。

FH Industrie (フランス) 社製
【Arrow人工肩関節】

日本エム・ダイ・エム

JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING

人工関節新製品【BKS Cone システム】

人工膝関節新製品 【BKS Cone システム】 薬事承認取得及び販売開始

既存の人工膝関節抜去の際、脛骨に骨欠損が発生し骨補填が必要となる症例に対応するインプラント製品。本製品は、**三次元積層造形技術**を用いたチタン合金製であり、一部に多孔質構造を施すことにより、生体適合性の向上が期待され、当社が既に販売している人工膝関節再置換用インプラント製品「BKS Revision System」と併用することで、医療従事者の治療の選択肢が増え、患者様の**QOL向上に寄与**する。

ODEV社製【BKS Cone システム】

日本国内売上【骨接合材料】

(Millions of yen)

21/3,H1 +9.5%

20/3,H1 +0.3%

大腿骨頸部転子部骨折
治療製品

ODEV社製品 PHS
&

他社製品 ASULOCK
好調

日本エムディエム

日本国内売上【脊椎固定器具】

(Millions of yen)

21/3,H1 +19.4%

20/3,H1 +31.3%

高成長維持

自社新製品

(Vusion Ti 3D、Pisces)

&

BKP※好調

(※経皮的椎体形成術)

日本エムディエム

JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING 12

日本国内売上【脊椎固定器具：ODEV社製品】

(Millions of yen)

21/3,H1 +7.6%

20/3,H1 ▲1.5%

再成長へ

自社新製品 (Vusion Ti 3D、Pisces)

導入効果

日本エム・ダイ・エム

JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING 13

米国売上

(Thousands of dollars)

\$30.7M

新規顧客 獲得順調

21/3,H1 +22.3%

20/3,H1 ▲ 5.0%

ODEV社 UHKAS Meeting 開催

ODEV社 UHKAS Meeting 開催

UHKAS (Utah Hip & Knee Arthroplasty Symposium) Meetingとは、ODEV社が、主として医師を対象として2年ごとに開催する学会に類似した人工関節治療の討論会。

2021年4月に開催され、代理店関係者も含め、過去最大の129名が参加した。

3日間のプログラムで、研究発表や症例検討に加え、会社施設訪問、自社製品BKS R2のカダバー、自社製品紹介を実施し、好評のうちに終了。米国市場における**新規顧客獲得に寄与**する。

米国売上【人工関節・地域別】

(Thousands of dollars)

West Area

\$16.7M

21/3,H1 +23.9%

20/3,H1 ▲ 0.1%

East Area

\$13.3M

21/3,H1 +19.7%

20/3,H1 ▲ 13.1%

West Area
Pre-Covidまでに
回復、順調

East Area
大型ロスト・ASP
低下響き苦戦

※DePuy Synthes 社向け「KASM」販売等除く

米国売上【人工関節・製品別】

(Thousands of dollars)

股関節【Hip】

\$11.2M

21/3,H1 +15.5%

20/3,H1 ▲ 8.5%

膝関節【Knee】

\$18.7M

21/3,H1 +26.2%

20/3,H1 ▲ 4.9%

Cones & Sleeves
全米展開効果

膝関節
回復順調

前年同期営業利益比較分析

(Millions of yen)

予想値（当初）対比

売上高は、米国売上で2QにCovid-19再拡大の影響を大きく受けたものの、1Qは好調に推移したことで予想値を上回った。販管費は、活動制限等で営業経費が予想を下回り、特利に米国のPPPローン債務免除益を計上した結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は予測値を大幅に上回った。

(Millions of yen , %)	22/3,H1		当初予想値比増減		22/3,H1	
	実績	売上比	増減額	増減率	当初 予想値	売上比
売上高	8,858	100.0	+358	+4.2	8,500	100.0
営業利益	1,058	11.9	+208	+24.5	850	10.0
経常利益	1,042	11.8	+222	+27.2	820	9.6
四半期純利益※	1,003	11.3	+453	+82.4	550	6.5

※親会社株主に帰属する四半期純利益

アジェンダ

- ・ 2022年3月期上期決算結果
- ・ **2022年3月期通期業績予想**

連結売上高【Covid-19の影響】

Growth vs Pre-Covid (20/3)

繁忙期
Covid-19
再拡大懸念
不透明

H2当初公表値対比

▲3.5億円

米国売上【Covid-19の影響】

※米国Covid-19新規感染者数データ元：Centers for Disease Control and Prevention
https://covid.cdc.gov/covid-data-tracker/#cases_totalcases

米国売上 Covid-19 影響顕著

3Q、4Qへの影響 不透明

【業績予想】連結損益計算書

(Millions of yen , %)	22/3		vs 21/3		vs 20/3	
	予想値	売上比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	18,700	100.0	+1,961	+11.7	+616	+3.4
売上原価	5,650	30.2	+330	+6.2	+371	+7.0
販管費	10,350	55.3	+1,100	+11.9	+190	+1.9
営業利益	2,700	14.4	+531	+24.5	+55	+2.1
経常利益	2,650	14.2	+524	+24.7	+68	+2.6
当期純利益 ※	1,800	9.6	+135	+8.1	▲364	▲16.9

※親会社株主に帰属する当期純利益

【業績予想】連結損益計算書（上下期 vs 21/3）

(Millions of yen , %)	22/3,H1		vs 21/3,H1		22/3,H2		vs 21/3,H2	
	実績	売上比	増減額	増減率	予測値	売上比	増減額	増減率
売上高	8,858	100.0	+1,105	+14.3	9,841	100.0	+856	+9.5
売上原価	2,856	32.2	+374	+15.1	2,793	28.4	▲43	▲1.5
販管費	4,943	55.8	+497	+11.2	5,406	54.9	+603	+12.6
営業利益	1,058	11.9	+234	+28.4	1,641	16.7	+296	+22.1
経常利益	1,042	11.8	+236	+29.4	1,607	16.3	+287	+21.8
四半期純利益※	1,003	11.3	+477	+90.6	796	8.1	▲341	▲30.0

※親会社株主に帰属する四半期純利益

【業績予想】連結損益計算書（上下期 vs 20/3）

(Millions of yen , %)	22/3,H1		vs 20/3,H1		22/3,H2		vs 20/3,H2	
	実績	売上比	増減額	増減率	予測値	売上比	増減額	増減率
売上高	8,858	100.0	+75	+0.9	9,841	100.0	+541	+5.8
売上原価	2,856	32.2	+322	+12.7	2,793	28.4	+48	+1.8
販管費	4,943	55.8	▲38	▲0.8	5,406	54.9	+228	+4.4
営業利益	1,058	11.9	▲208	▲16.4	1,641	16.7	+263	+19.1
経常利益	1,042	11.8	▲180	▲14.7	1,607	16.3	+248	+18.3
四半期純利益※	1,003	11.3	+81	+8.8	796	8.1	▲446	▲35.9

※親会社株主に帰属する四半期純利益

【業績予想】主要品目別連結売上高

(Millions of yen , %)	22/3		21/3		20/3	
	予測値	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
日本国内売上	12,000	64.2	+936	+8.5	+1,078	+9.9
人工関節	4,755	25.4	+355	+8.1	+238	+5.3
骨接合材料	3,918	21.0	+221	+6.0	+158	+4.2
脊椎固定器具	2,922	15.6	+343	+13.3	+711	+32.2
人工骨・その他	403	2.2	+15	+4.1	▲29	▲6.8
米国売上※1	6,994	37.4	+1,320	+23.3	▲166	▲2.3
人工関節	6,981	37.3	+1,324	+23.4	▲145	▲2.0
脊椎固定器具	13	0.1	▲3	▲22.6	▲21	▲61.4
売上控除前小計	18,995	101.6	+2,257	+13.5	+912	+5.0
売上控除※3	△ 295	△ 1.6	▲ 295	-	▲ 295	-
合計	18,700	100.0	+1,961	+11.7	+616	+3.4
自社製品売上	15,259	81.6	+1,889	+14.1	+236	+1.6
ドルベース※2	62,498		+9,053	+16.9	▲3,134	▲4.8

※1 換算レート (円)

111.92

+5.75

+2.81

※2 Thousands of dollars

※3 売上控除：収益認識基準適用に伴う控除。

【業績予想】設備投資等推移

	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 予想
(単位：百万円)						
設備投資	1,107	995	2,075	1,812	1,586	2,000
減価償却費 ※	930	1,014	1,159	1,385	1,386	1,480
研究開発費	480	594	484	470	459	530

※製造原価算入の減価償却費を含むため、損益計算書上の「減価償却費」とは一致しておりません。

新中期経営計画「MODE2023」始動

10年後の目指す姿：

10年後の目指す姿

当社グループ独自の付加価値を提供し、患者様のQOL向上、
医療機関の収益性改善に資する**魅力ある会社**

(日本内資企業で売上高首位、世界整形外科市場で**15位**以内を目指す)

経営方針

日米共同開発を基軸に、医療機器の開発・製造・輸入・販売を通して、日本だけでなく世界の
医療マーケットに真に価値ある医療機器を提供していくことで、**医療に貢献すること**

経営理念

最先端の優れた医療機器の開発と販売を通して、**医療に貢献する**

「MODE2023」：中期経営方針

治療成績の向上等、様々な

医療現場ニーズへの対応に加え、

治療価値向上（安全性・有効性、入院期間短縮による治療収益改善
など）に資するサービス（インプラント・医療工具、手術支援システムなど）を、

より高い専門性をもってタイムリーに医療現場に提供し、患者の

QOL向上に貢献する。

「MODE2023」：重点施策

中期経営方針に従い、利益の伴った持続的成長を実現するため、重点施策を実行し
10年後の目指す姿「魅力ある会社」の実現を目指す。

① 海外ビジネスの 拡大

- 北米：2桁成長継続
大腿骨頸部転子部骨接
治療分野参入
- 中国：現地製造販売準備、ODEV製品輸入販売
で中国市場開拓、販売基
盤の確立
- オーストラリア：ODEV
製品輸入販売開始。手術
支援システム導入、販売網
の確立

② 開発・調達力の 強化

- 新規性、競争優位性
ある高付加価値製商品・
工具・サービス等の調達・開
発の強化
- 開発プロセス改善、関連部
署との連携、合意形成の
強化
- 製造原価低減、自社製
造能力拡大
- 不具合低減に向けた上市
前品質の向上

③ 人材・組織の 専門性強化

- 個人及び組織の
専門性を強化
- **事業開発部の新設**
(新規性等商品調達、治療
価値向上に資するサービスの
開発)
- 戦略実行体制強化のため
の積極的な**人材投資**
(人員増)

④ デジタル化の 推進

- 術前計画、手術支援
システム・サービス等、
医療従事者への高付加
価値サービス開発
- 非対面ツール開発導入によ
る顧客ルーレーションの維持、
強化
- ITシステム強化による在庫
運用可視化、製造管理、
日常業務等の更なる
効率化

日本エム・ダイ・エム

JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING

ORTHO

DEVELOPMENT®